

研究報告及び口頭発表等

<2012. 4. 1～2013. 3. 31（平成 24 年度）>

（１）学会誌、センター報告など

1. 実岡寛文：芝地の水ストレス耐性を基礎とした芝地の水分管理を考える～イネ科植物を中心とした水ストレス耐性生理と耐背付与管理を考える。西日本グリーン研究所だより。74 巻：7-14.
2. 小櫃剛人・佐々木理沙・杉野利久・谷口幸三（2012）泌乳中後期における搾乳回数の変更が乳生産に及ぼす影響。広島大学大学院生物圏科学研究科瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター報告, 10: 1-8.
3. 磯部直樹・岩本ちひろ・田中明良・窪田浩和・吉村幸則（2012）乳房炎が周産期の繁殖機能に及ぼす影響。広島大学大学院生物圏科学研究科瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター報告, 10: 9-11.
4. 黒川勇三・沖田美紀・小山茉美・小櫃剛人・窪田浩和・田中明良（2012）ロボット搾乳と TMR 自動給餌導入前後における乳牛の乳量と血液性状の変化～本学西条ステーション（農場）の事例。広島大学大学院生物圏科学研究科瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター報告, 10: 13-19.

（２）学会誌（referee あり）

1. 福田泰子・細川武志・夏目悠司・二村優次・政岡賢一・立川瑛子・実岡寛文：低フィチンダイズと普通栽培品種エンレイの生育，収量および栄養成分の比較。日本土壌肥科学雑誌：83, 381-388.
2. Wickramatilake ARP, Munehiro R, Nagaoka T, Wasaki J, Kouno K (2011) Compost amendment enhances population and composition of phosphate solubilizing bacteria and improves phosphorus availability in granitic regosols. *Soil Science and Plant Nutrition*, 57: 529-540.
3. Eida, MF, Nagaoka, T, Wasaki J, Kouno, K (2012) Isolation and characterization of cellulose-decomposing bacteria inhabiting sawdust and coffee residue composts. *Microbes and Environment.*, 27: 226-233.
4. Eida, MF, Nagaoka, T, Wasaki J, Kouno, K (2013) Phytate degradation by fungi and bacteria inhabiting sawdust and coffee residue composts. *Microbes and Environments*, 28: 71-80.
5. 俵谷 圭太郎、和崎 淳. 2012: リン酸資源の枯渇に対応したリン栄養研究. 1. 講座のねらい. (講座) 日本土壌肥科学雑誌, 83(2), 173-176.
6. 和崎 淳. 2012: リン酸資源の枯渇に対応したリン栄養研究. 2. 有機態リン酸の利用. (講座) 日本土壌肥科学雑誌, 83(2), 177-182.
7. 瀬戸 二郎、加藤 直人、末吉 邦、和崎 淳、森塚 直樹、金田 吉弘、関本 均. 2012: 植物の養分獲得・利用と施肥. (資料) 日本土壌肥科学雑誌, 83(4), 471-477.
8. Miyake, Y, Sakai, Y & Kuniyoshi, H. 2012. Molecular cloning and expression profile of sex-specific genes, *Figla* and *Dmrt1*, in the protogynous hermaphroditic fish, *Halichoeres poecilopterus*. *Zoological Science*, 29: 690-701.
9. Kuniyoshi, H, Okumura, I, Kuroda, R, Tsujita, N, Arakawa, K, Shoji, J, Saito, T & Osada, H. 2012. Indomethacin induction of metamorphosis from the asexual stage to sexual stage in the moon jellyfish, *Aurelia aurita*. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*, 76: 1397-1400.

- 1 0. Miyake, Y, Nishigakiuchi, J, Sakai, Y & Kuniyoshi, H. 2012. Ovarian degeneration during the female-to-male sex change in the protogynous hermaphroditic fish, *Halichoeres poecilopterus*. *Ichthyological Research*, 59: 276-281.
- 1 1. 森元真理・木場有紀・谷田 創 (2012) 広島県下の幼稚園におけるウサギの飼育管理に関する調査—主成分分析を用いたウサギの飼育管理状況の評価—. ヒトと動物の関係学会誌、32: 48-56.

(3) 口頭発表

1. 熊谷 菜里・柿澤ハルナ・上田晃弘、・実岡寛文：種子成熟過程における穀類のフィチン酸及び無機リン酸濃度の変動 日本土壤肥料学会 2012 年度大会 (2012 年 9 月 鳥取市)
2. Akiyosi T・Fujikawa Y・Ueda A・Nagaoka T・Esaka M・Calcano M・Milton M・David HMJ・Saneoka H: Effect of poultry manure application on the productivity and quality of *Moringa oleifera*. 日本土壤肥料学会 2012 年度大会 (2012 年 9 月 鳥取市)
3. Liu YL・Assaha VMD・Ueda A・Saneoka H: Effects of 5-aminolevulinic acid on development and salt tolerance in white Swiss chard (*Beta vulgaris* L. var. cicle) 日本土壤肥料学会 108 回関西支部会講演会 (2012 年 11 月 倉敷市)
4. Assaha VMD・Liu YL・Ueda A・Saneoka H: Comparative evaluation of salinity stress tolerance in *Solanum Scabrum* Mill and *S. melongena* L. 日本土壤肥料学会 108 回関西支部会講演会 (2012 年 11 月 倉敷市)
5. Ueda A., Yahagi H., Fujikawa Y., Nagaoka T., Esaka M., Calcano M., Martinez M., Hernandez J.D.H., Saneoka H.: Nutrio-physiological characterization of the local rice cultivars in Dominican Republic under salinity stress. 8th International Congress on Interdisciplinary Investigation, Santo Domingo, Dominican Republic, June 2012.
6. Fujikawa Y., Kondo T., Akiyoshi T., Ueda A., Nagaoka T., Calcano M., Martinez M., Hernandez J.D.H., Saneoka H., Esaka, M.: Characterization of ascorbic acid biosynthesis in *Moringa*. 8th International Congress on Interdisciplinary Investigation, Santo Domingo, Dominican Republic, June 2012.
7. Martinez M., Ueda A., Fujikawa Y., Nagaoka T. Esaka M., Calcano M., Hernandez J.D.H., Saneoka, H. Prospection on libertad (*Moringa oleifera* Lam) ecological adaptation, utilization, and first agronomy trials in the Dominican Republic. 8th International Congress on Interdisciplinary Investigation, Santo Domingo, Dominican Republic, June 2012.
8. Ueda A., Yahagi H., Saneoka H.: The cation-chloride cotransporter AtCCC regulates potassium uptake in Arabidopsis. *Plant Biology* 2012, July 20-24, Austin, Texas
9. 小笠原進太, 上田晃弘, 実岡寛文: 土壤細菌 *P. fluorescens* のバイオフィルム形成に関する遺伝子の同定. 日本土壤肥料学会2012年度鳥取大会, 2012年9月4日~6日, 鳥取大学
10. 上田晃弘, 矢萩裕之, 実岡寛文: シロイヌナズナのカリウム輸送体 AtCCC の機能解析. 日本土壤肥料学会 2012 年度鳥取大会, 2012 年 9 月 4 日~6 日, 鳥取大学
11. Yahagi H., Ueda A., Fujikawa Y., Nagaoka T., Esaka M., Calcaño M., Martínez M., Hernandez J.D.M., Saneoka H.: Comparative Physiological Analysis of Salt Tolerance in the Local Rice Cultivars of Dominican Republic. 日本土壤肥料学会2012年度鳥取大会, 2012年9月4日~6日, 鳥取大学

12. 下川 優子・長岡 俊徳・河野 憲治：マサ土からの亜酸化窒素発生量抑制 ウレアーゼ阻害剤および硝化抑制剤の亜酸化窒素発生抑制効果. 日本土壌肥料学会 2012 年度大会、(2012 年 9 月、鳥取)
13. 宗廣 亮佑・長岡 俊徳・和崎 淳・河野 憲治：リン溶解菌による土壌蓄積難溶性無機リンの利用性改善. —有機物中のリン溶解菌の単離及び難溶性無機リン溶解能力の評価—. 日本土壌肥料学会 2012 年度大会、(2012 年 9 月、鳥取)
14. 森川 達也・澤井 晃・長岡 俊徳・河野 憲治：マサ土における蓄積リンの植物による利用性と微生物性との関連. 日本土壌肥料学会関西支部会 2012 年度大会、(2012 年 12 月、倉敷)
15. 和崎 淳、中野 陽介、上脇 葉子、入江 智史、丸山 隼人、河野 憲治. シロバナルーピンを混植した主作物の生育とリン吸収の種間比較. 2012. 9. 日本土壌肥料学会、鳥取大学 (鳥取市)
16. 入江 智史、丸山 隼人、河野 憲治、和崎 淳. シロバナルーピンの混植がトウモロコシのリン吸収に及ぼす影響. 2012. 12. 日本土壌肥料学会関西支部講演会、倉敷市芸文館 (岡山県倉敷市)
17. 吉岡沙弥香・辻田菜摘・小路淳・荒川賢治・永田晋治・長澤寛道・国吉久人：ミズクラゲ *Aurelia aurita* におけるペプチドーム解析. 日本動物学会 第 83 回大会 (2012 年 9 月、大阪)
18. 桑原宏行・辻田菜摘・矢中規之・小路淳・荒川賢治・国吉久人：Differential Display 法によるミズクラゲ幼生の変態関連遺伝子の探索. 日本動物学会 第 83 回大会 (2012 年 9 月、大阪)
19. 辻田菜摘・桑原宏行・矢中規之・小路淳・荒川賢治・国吉久人：ミズクラゲにおけるポリプ特異的遺伝子のクローニング. 日本動物学会 第 83 回大会 (2012 年 9 月、大阪)
20. 国吉久人・奥村衣澄・黒田理絵・辻田菜摘・小路淳・荒川賢治・斎藤臣雄・長田裕之：ミズクラゲ *Aurelia aurita* の変態誘導物質の探索. 日本動物学会 第 83 回大会 (2012 年 9 月、大阪)
21. 黒田理絵・辻田菜摘・小路淳・荒川賢治・斎藤臣雄・長田裕之・国吉久人：ミズクラゲ幼生の変態阻害物質の探索. 日本動物学会 第 83 回大会 (2012 年 9 月、大阪)
22. 森元真理・木場有紀・谷田 創、「幼稚園における動物飼育に関する研究-ウサギに対する『名づけ』が飼育環境に及ぼす影響について-」. こども環境学会 2012 年大会 (2012 年 4 月、仙台)
23. 森元真理・木場有紀・谷田 創、「幼児を対象とした動物介在教育の評価に関する研究-幼稚園における飼育動物との関わりは幼児の心に何を育むのか?-」. 第 62 回 日本理科教育学会全国大会 (2012 年 8 月、鹿児島)
24. 森元真理・木場有紀・谷田 創、「フィールドセンターを活用した酪農教育の効果の評価」日本畜産学会 第 116 回大会 (2013 年 3 月、広島)
25. 沖田美紀・山下莉奈・黒川勇三・豊後貴嗣 暑熱期の剪毛が乳牛の生産と生理反応に及ぼす影響. 日本畜産学会第 116 回大会 (2013 年 3 月、広島)
26. 山下莉奈・黒川勇三・沖田美紀・小櫃剛人 暑熱時乳牛の剪毛が濃厚飼料比率増加による乳生産改善効果に及ぼす影響. 日本畜産学会第 116 回大会 (2013 年 3 月、広島)
27. 岩本彩・小川景子・谷田 創、「馬に配慮した動物介在教育プログラムの開発-幼児に対する馬介在教育プログラムの短期的効果の検証-」. 第 18 回 ヒトと動物の関係学会 学術大会 (2013 年 3 月、東京)
28. 妹尾あいら・谷田 創、「広島県尾道市千光寺山周辺における野良ネコの生息状況に関する調

査」. 日本哺乳類学会 2012 年度大会 (2012 年 9 月、神奈川)

29. 妹尾あいら・谷田 創、「広島県尾道市旧市街地におけるルートセンサス法を用いたネコの個体識別調査」. 第 18 回 ヒトと動物の関係学会 学術大会 (2013 年 3 月、東京)

(4) 著書 (分担執筆を含む)、雑誌など

1. 和崎 淳. 2013: 植物による難利用性リン酸利用のしくみと活用の可能性. 土づくりとエコ農業, 45(513), 10-15.